

12月の衛研検査情報

～トピックス～

横浜市における自殺の現状（平成24年）

我が国では平成18年10月に「自殺対策基本法」が施行されました。この法に基づき、19年6月には、自殺対策の指針として「自殺総合対策大綱」が策定され、24年8月には、見直しが行われました。

感染症・疫学情報課では、横浜市こころの健康相談センターを通じて神奈川県警より「平成24年中の横浜市における自殺者」のデータの提供を受け、解析しましたので、その概略を報告します。

主な結果 平成24年の横浜市における総自殺者数は、627人（男性：433人、女性：194人）で、男性が69.1%を占めました。23年の総自殺者数（722人）と比べ、13.2%減でした。

遺伝子組換え食品の検査（その2）

遺伝子組換え食品は、内閣府にある食品安全委員会で安全性に問題ないと判断され、承認後、国内で製造・輸入・販売などが可能になります。検査は、承認済みのものについては定量検査を行います。一方、未承認のものについては定性検査を行います。

主な結果 平成25年9、10月に、各区福祉保健センターが収去した40検体について、遺伝子組換え大豆、コメ、トウモロコシの検査を実施したところ、違反検体はありませんでした。

海水浴場水質調査

金沢区の「海の公園」は、市民に親しまれている横浜市で唯一の海水浴場です。平成25年5月（海水浴場開設前）及び7月（開設中）に、環境省の依頼により検査を行いましたので、報告します。

主な結果 今年度の水質検査結果を水浴場水質判定基準で判定したところ、判定区分は5月、7月ともに「水質B」でした。昨年度も5月、7月ともに「水質B」でした。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、薬事情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成25年10月は、インフルエンザワクチン、クロストリジウム-ディフィシル感染症、マイコプラズマ肺炎に関するページのアクセスが多くみられ、総件数は161,389件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。